

# 夏期の交通事故防止

## ～夏期は車両単独による交通死亡事故が多発～

本年5月15日現在、県内の交通死亡事故は3件中2件が車両単独によるものでした。  
例年、夏期（6月から9月）の時期は、車両単独による交通死亡事故が多発する傾向にあることから、過去10年間（平成26年から令和5年）の車両単独事故について分析を行いました。

### ◎ 6月から9月にかけて車両単独による死亡事故が多発

- 県内で過去10年間に発生した全人身事故8,347件について見ると、追突事故や出会い頭事故が5,167件と全体の61.9%を占めていますが、死亡事故220件で見ると、車両単独事故が63件と多発しています。
- 車両単独による死亡事故は、7月に10件と突出して発生するなど、6月から9月の4か月間で28件と多発しています。

### ◎ 事故類型別では工作物衝突が最多

- 車両単独事故257件中、工作物衝突は158件（61.5%）と最も多く、死亡事故についても63件中40件（63.5%）と最も多く発生しています。
- 工作物衝突による死亡事故40件のうち、6月から9月に21件（52.5%）と発生が集中しています。

### ◎ 工作物衝突による死亡事故の分析結果

- 時間別では2時から4時までの間が9件（22.5%）と最も発生が多くなっています。
- 年齢別では、65歳以上の高齢者が10件（25.0%）と最も多くなっています。
- 曜日別では、日曜日が11件（27.5%）と最も発生が多く、次いで火曜日と土曜日がそれぞれ7件（17.5%）発生しています。
- 道路形状別では、単路が40件中36件と全体の90.0%を占め、単路のうち直線道路が18件と最も多くなっています。

### ◎ 県民の皆さまへ

夏期に多発する車両単独による事故の多くは、暑さや長時間の運転による疲労の蓄積や、単路走行時の漫然運転が原因と考えられます。

夏期に運転する際には

- ・ 睡眠不足や体調が悪い時には無理をせず、運転を控えましょう。
- ・ 適切にエアコンを使用し、車内の温度に注意するとともに、こまめに水分を補給しましょう。
- ・ 長時間運転とならないよう、無理のない運転計画を立てるとともに、眠気や疲れを感じる前に、こまめに休憩を取りましょう。

※ 割合については、単位未満で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。